

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 公民 科目 倫理

教 科： 公民 科 目： 倫理 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 自由選択

教科担当者：老田望

使用教科書：（ 東京書籍 倫理 ）

教科 公民 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会課題に対する見方，考え方はさまざまあり多面的であることを重視し，その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて，合意形成を目指す，公共的存在としての能力を養うことにとくに重点を置く。
- 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的，対話的な授業を通し，生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

科目 倫理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けることを目指す。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 第1章 人間の心のあり方 ①人間の特質 ②青年期の課題 ③認知 ④感情と個性 ⑤発達 【知識及び技能】 人間の特質や青年期の課題，認知，感情と個性，発達という人間の心の働きについて理解し，他者と共によりよく生きる人間のあり方について，適切な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と他の青年がおかれた現在の状況をふまえ，人生における青年期の位置づけや特徴，現代社会におけるその特質について考察する。	①さまざまな人間の定義を整理して，人間の特質について多面的・多角的に考察する。 ②「考えること」の意義について，パスカルの原典資料の読解やグループでの話し合いを通じて考察する。 ③青年期の自己形成について考え直し，現代社会で生きていく上で，青年期に求められることは何か，具体的に幅広く考え，話し合ったり意見を発表する。	【知識及び技能】 ①人間の特質や青年期の課題，認知，感情と個性，発達という人間の心の働きについて理解し，他者と共によりよく生きる人間のあり方について，適切な知識を習得している。 ②教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を効果的に調べまとめている。 【思考力・判断力・表現力等】 ①人間の特質や青年期の課題，認知，感情と個性，発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察し，他者と共によりよく生きる人間のあり方について，思索を深めている。 ②理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。	○	○		9
	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 ①ソクラテスとソフィスト ②プラトン ③アリストテレス 【知識及び技能】 ギリシャにおける哲学の誕生について，地歴科の授業内容と関連づけながら，その歴史的背景とともに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「哲学」の意味や，「哲学すること」の意義について，多面的・多角的に考察させる。	①さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習に先立って，「哲学」の意味や，「哲学すること」の意義について理解する。 ②人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。 ③ソフィストの活動や思想の特徴，ソクラテスの生涯や思想について多面的・多角的に考察することを通じて，自己の在り方生き方について思索する。	【知識及び技能】 ①幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，ギリシャの思想，キリスト教，イスラーム，仏教，中国の思想，人生における宗教や芸術の意義について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，様々な人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察している。	○	○		7
	定期考査			○	○		1
2	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 ①集団的な現象としての宗教 ②旧約聖書の倫理 ③イエスの教え ④キリスト教の展開 【知識及び技能】 人生における宗教の意義や，宗教が人間や社会に与えた影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人生における宗教の意義や，宗教が人間や社会に与えた影響について，先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりにして考察する。	①幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，キリスト教の成立と発展についての歴史的 understanding をする。 ②人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。	【知識及び技能】 ①幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，人生における宗教の意義や，宗教が人間や社会に与えた影響について，デュルケームなど先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりに理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①人生における宗教の意義や，宗教が人間や社会に与えた影響について，多面的・多角的に考察している。	○	○		8

学期	第2章　さまざまな人生観・倫理観・世界観 ①ムハンマドとイスラームの教え ②イスラームの展開 ③古代、インドの思想 ④ブッダの思想 【知識及び技能】 イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について、地歴科の授業内容と関連づけながら、その歴史的背景とともに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察する。	①イスラームの誕生について、ムハンマドの生涯や歴史的背景をふまえて考察する。 ②幸福，善，正義，義務などに着目して，現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。	【知識及び技能】 ①イスラームの誕生について，ムハンマドの生涯や歴史的背景とともに理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①幸福，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ①現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範を手がかりに，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について主体的に探究している。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>第3章 ささまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ</p> <p>①カント</p> <p>②ヘーゲル</p> <p>③功利主義と幸福</p> <p>④社会主義思想</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>カントの批判哲学，認識論，道德思想，人格の尊厳の思想，理想的な社会の構想について理解する。</p> <p>ヘーゲルの弁証法，歴史観，自由と人倫の思想，社会や国家の考え方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>カントの批判哲学，認識論，道德思想，人格の尊厳の思想，理想的な社会の構想について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索する。</p>	<p>①カントの批判哲学，認識論，道德思想，人格の尊厳の思想，理想的な社会の構想について理解する。</p> <p>②ヘーゲルの弁証法，歴史観，自由と人倫の思想，社会や国家の考え方について，カントの自由や道德に関する考え方と比較したりしながら多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について考察する。</p> <p>③アダム・スミス，ベンサム，J.S.ミルの倫理思想について，現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察する。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①カントの批判哲学，認識論，道德思想，人格の尊厳の思想，理想的な社会の構想について理解している。</p> <p>②ヘーゲルの弁証法，歴史観，自由と人倫の思想，社会や国家の考え方について理解している。</p> <p>③アダム・スミス，ベンサム，J.S.ミルの倫理思想について，歴史的背景とともに理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>①カントの批判哲学，認識論，道德思想，人格の尊厳の思想，理想的な社会の構想について多面的・多角的に考察している。</p> <p>②ヘーゲルの弁証法，歴史観，自由と人倫の思想，社会や国家の考え方について，カントの自由や道德に関する考え方と比較したりしながら多面的・多角的に考察している。</p> <p>③現代の価値観に影響を与えた近代の社会変革の思想について，現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①カントの批判哲学，認識論，道德思想，人格の尊厳の思想，理想的な社会の構想を手がかりに，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について主体的に探究している。</p> <p>②ヘーゲルの弁証法，歴史観，自由と人倫の思想，社会や国家の考え方を手がかりに，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について主体的に探究している。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1